

【事務事業調査】

事務事業名	こころの健康づくり推進事業費			予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001-040102-003-05-01-0
担当部署	住民生活部 健康福祉課	担当 サブリーダー	健康づくり担当 田中 圭子	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	①1歳6か月時健診、3歳児健診、乳幼児相談等で育児ストレスを抱える保護者への対応として心理相談員による「心理相談」を実施する。②親子で楽しくふれあう機会として「遊びの教室」を毎月定期的に開催する。(0歳児コース、1歳以上コース) 妊娠期の不安の解消、プレママ同士の交流の場として、母親学級を開催する。③広報や健康診査結果説明時にて「こころの健康」に関する啓発と相談機関の紹介を行う。④こころの相談機関とのネットワークを築き、相談や訪問を実施する。⑤専門医または心理相談員によるこころの相談を開催し早期に適切な対応をするよう促す。社会福祉担当「自殺対策推進事業」と連携	①社会的変化により保護者の育児ストレス・不安が年々増加傾向にあるが、相談しやすい体制を整えることにより、育児上の悩みを早期解消でき、より良い親子関係の支援につながる。②同年齢の子を持つ親子のふれあい事業、友人づくりの場となり、引きこもり防止や育児ストレス・不安の解消につながる③こころのチェックシート等の紹介により、自分自身のこころ状態を把握し、生活を振り返る機会となる。また、事前に相談機関を知っておくことにより、こころの問題が生じたときに早期に対応することができる。④⑤相談者のニーズに合わせた相談機関(町・国・医療機関・NPO等)を紹介したり、町での相談体制を整えることで、早期に対応することができ、重症化を防ぐ。
実績	①1歳6か月時健診、3歳児健診、乳幼児相談等で育児ストレスを抱える保護者への対応として心理相談員による「心理相談」を実施。36回実施し73人の利用者があった②親子で楽しくふれあう機会として「遊びの教室」を20回開催。母親学級を16回開催③広報や健康診査結果説明時にて「こころの健康」に関する啓発と相談機関の紹介を行った。④矢板地区自殺対策連絡協議会により情報交換を行った⑤専門医によるこころの相談を2回開催。利用者は6人。	早期にこころの悩みに対処することにより、適切なサービスを提供することができた。話を聞くことで不安を和らげ、相談機関や医療機関につなげることで、自殺や虐待などが回避できたと思われる。また、身近に相談できる場があることで安心感を与えることができた。関係機関と連携することで、提供できるサービスの選択肢が増えたり、効果的な援助方法を検討することができた。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
心理相談件数	180件	79件	1歳6か月時健診、3歳児健診、乳幼児相談での心理相談件数

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 賃金	68,320
2 報償費	604,000
3 消耗品	67,000
4 委託料	540,000
5	
6	
7	
8	
	1,279,320

■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 賃金	70,000
2 報償費	376,000
3 消耗品	132,000
4 委託料	540,000
5	
6	
7	
8	
	1,118,000

■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 賃金	46,448	
2 報償費	264,000	
3 消耗品	98,615	
4 委託料	540,000	
5		
6		
7		
8		
	949,063	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		1,118,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		1,118,000	
決 算	決算額		949,063	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計		0	0
	差引(一般財源)	1,279,320	949,063	